

年 組 名前:

問1 うえのはらにししやう ねん 上野原西小4年の

しのもと 篠本さんは、

いつ、どこで、なにを

つか 捕まえましたか。

・いつ

・どこで

けん 県の

・なにを

か 科の

しんかいぎよ 深海魚

上野原西小4年・篠本さん 幼魚捕獲

深海魚飼育 生きた教材

上野原西小4年の篠本侑輝さん(11)上野原市コモアしおつ3丁目には深海魚「ハナピラウオ」の幼魚を育てている。2月上旬に静岡県の伊豆半島で捕まえ、自宅でエサをあげながら観察を続ける。篠本さんは「元気に育てられるよう魚のことをもっと勉強したい」と話している。

〈飯野裕平〉

新江ノ島水族館(神奈川県藤沢市)によると、ハナピラウオはエボシダイ科の魚で、幼魚が花びらのような形であることが名前の由来。成魚は体長50センチ程度まで成長し、水深700センチ程度までの深海に生息すると考えられている。幼魚の時期には浅い海で過ごし、クラゲを食料にしつつ中に潜み、外敵から身を守る習性がある。同館の担当者(成魚の生体はほとんど分かっていない魚だが、幼魚は1〜3匹)は、

「新月の夜、月ごろにクラゲに紛れて沿岸部でも見られることがある」と説明する。篠本さんが捕まえた幼魚は体長約5センチ。捕獲直後は無色透明だったが、「飼いはじめから少し黒っぽくなった」という。2月10日に家族で静岡県松崎町へ釣りに訪れた際、水面近くに浮かぶクラゲを網ですくったところ、中に隠れていた。

図鑑で調べたり、泊まった旅館のスタッフに聞いたたりした。



篠本さんが捕まえたハナピラウオの幼魚

「初めて見た魚だった。珍しいのもっと観察したい」と帰り道で水槽を購入し、育てることを決めた。魚が大好きでハナピラウオのほかにも、桂川で捕まえたオイカワやドジョウなども育てている。ペットショップの店員が水族館の飼育員になることを目指しているといい、「将来は魚に関わる仕事したい」と笑顔を見せる。

(2024年3月1日付 山梨日日新聞 20面)

問2 つか 捕まえた深海魚は、ほかく 捕獲からどのようなへんか 変化が見られましたか。

問3 しのもと 篠本さんは、しんかいぎよ 深海魚以外に、そだ なにを育てていますか。

問4 しのもと 篠本さんは、しやうらい 将来、どのようなしごと 仕事がしたいと話していますか。